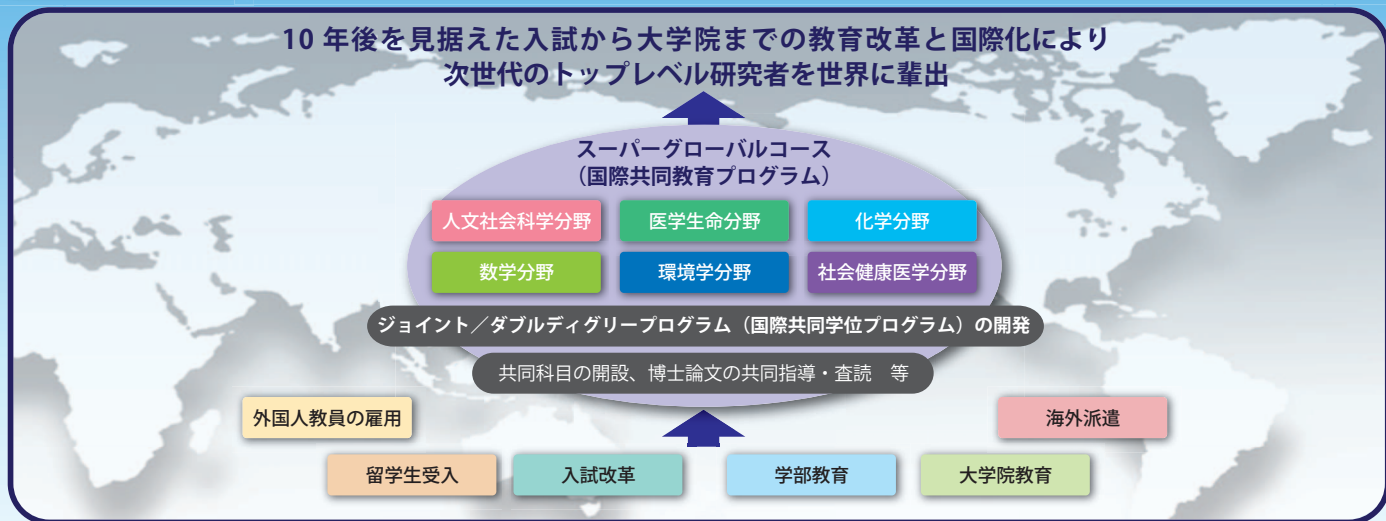


JGP

構想の概要・目的

本学が十分な国際競争力を持つ分野を擁する大学院に、各分野の世界トップレベル大学と連携して実施する国際共同教育プログラム「スーパーグローバルコース」を設置します。各分野のスーパーグローバルコースにおいては、パートナー大学との共同科目の開設、博士論文の共同指導・査読等の取組を行うとともに、国際共同学位プログラム「ジョイント/ダブルディグリープログラム」の開発を進めます。これによる大学院教育の国際化と、入試改革、外国人教員の雇用促進、留学生の受入れおよび学生の海外派遣の増加、英語による授業の増加等、大学教育の様々な側面の国際化との相乗効果により、本学の研究・教育力の更なる強化を図り、世界で活躍する次世代のトップレベル研究者を輩出します。

10年後を見据えた入試から大学院までの教育改革と国際化により 次世代のトップレベル研究者を世界に輩出



海外連携大学との相互交流により、国際共同研究・国際共著論文の比率を増加させ、
世界大学ランキングTOP10へ

人文社会科学分野

人文社会科学分野は、経済学・文学・農学の3研究科に跨っています。持続可能性(サステナビリティ)と跨境性(トランスカルチャー)をキーワードに、各分野の国際連携大学(グラスゴー大学、ワーヘニンゲン大学、コペンハーゲン・ビジネススクール、中国人民大学、チュラロンコン大学、ハイデルベルク大学、ゲッティンゲン大学等)とともに、共同学位制度ないし共同修了証取得制度を見据えた国際共同教育プログラムを構築し、東・東南アジア地域と欧米地域の学生・若手研究者が相互に交流するハブ拠点となって、アジア地域に立脚しながらグローバルな視野で世界の持続的発展と多文化共生社会の形成に貢献しうる人材の育成を目指しています。



医学生命分野

医学生命分野では、ノーベル医学生理学賞、ロベルト・コッホ賞、アルバート・ラスカー賞といった世界的に著名な賞の受賞者を数多く輩出してきた世界第一線級の研究力、プレゼンスをさらに強化するため、ゲノム医学領域を中心に、マギル大学、ボルドー大学、パスツール研究所、インペリアルカレッジ等の海外パートナー校との教育・研究におけるさらなる連携体制の構築に取り組みます。国際共同教育・学位プログラムの実施を通じて、世界トップレベルの研究者及び学生交流を促進し、国際競争力のある人材を育成するとともに、国際教育ネットワーク構築モデルを示すことで、京都大学の世界的評価を高めることを目指します。



化学分野

化学分野を構成する工学研究科化学系6専攻は分子レベルの理論的解析から地球規模の環境、エネルギー問題の対応までを含む、非常に幅広い教育・研究を実施する世界的に見ても最大規模の化学系大学院組織であり、ノーベル化学賞、フンボルト賞をはじめとする世界的な賞を数多く受賞しています。本分野では当化学分野の持つ特徴を最大限に生かし、マサチューセッツ工科大学等の海外連携大学教員による集中講義形式の科目を含め、講義の多く(博士後期課程においてはすべて)を英語で開講する教育プログラムを設置して国際水準の教育を確立し、大学院生の俯瞰力の強化と国際化を図るとともに、質の良い留学生数の増加も目指します。



数学分野

数学分野は、フィールズ賞をはじめとする世界的に著名な賞を数多く受賞し数理科学の広範な分野をカバーする世界最高水準の研究者集団を擁し、時代を先導する研究を数多く行ってきました。大学院生は、主指導教員であるこれらの本学教員に加えて、第一線の外国人研究者を副指導教員とした共同研究指導を受けることにより、数学の高い研究能力と十分な語学力を備えて、国際的な環境の中で博士論文の研究を行うことができます。平成27年度には3名の大学院生がそれぞれUCLA、ボン大学、ラトガース大学の研究者を副指導教員として学位を取得する予定です。また国際的な研究ネットワークを構築し、学位論文の成果が国際的に周知されることで、国際的な活躍の場が広がります。



環境学分野

地球環境学堂/学舎・農学研究科からなる環境学分野は、自然科学、社会科学、人文科学など多分野から構成され、環境問題に資する学際的・実践的な教育・研究を行っています。教育においては、Lester R. Brown氏(米国アースポリシー研究所)やRattan Lal氏(The Ohio State University)など著名な研究者を招へいし、環境分野における先端事例を提供するとともに、既にガジャマダ大学、カセサート大学と実施済みであるダブルディグリープログラムの拡大および他大学とのジョイントディグリープログラムの実施検討、インターン研修の実施など、教育プログラムの国際化を推進しています。研究においても、日経地球環境技術賞・優秀賞(真常仁志ら)を受賞するなど、新たな環境技術が評価されています。



社会健康医学分野

社会健康医学分野は、21世紀のグローバルヘルスを先導するワールドプレミアム公衆衛生大学院の創成を目標として、専攻内に国際化推進室を設置し、チュラロンコン大学、マラヤ大学、マヒドン大学、国立台湾大学等のASEAN、東アジア、欧米の主要大学と連携しつつ、教育プログラムの学際化・国際化、学位プログラムの国際化を強力に推進すると共に、若手研究者に焦点化した国際交流を推進しています。これまでに、必修科目、一部選択科目、及びHPを英語化し、英語による教育・広報体制を前進させると共に、世界5大陸の主要13大学から若手研究者を招聘して国際会議を開催し、併せて、国際共同研究の推進を図るため、連携海外大学との間で、活発な学生、教員の交流(派遣・招聘)を行いました。

